

文化財情報の分析・活用と公開に関する調査研究 (シ05)

目的 東京文化財研究所で行われている調査研究に関する情報及び国内外の文化財に関するさまざまな情報について分析し、それらの情報を文化財保護に対して活用するための調査研究を実施する。また、それらの情報の効果的な公開の手法に関する調査研究を行う。

成果 1. デジタル画像の形成方法の研究開発

ア) 運営費交付金や外部資金による他プロジェクトの一環として、東京文化財研究所内外において、東京国立博物館所蔵の平安仏画、鏡神社所蔵《水月観音図》など、多数の文化財の光学的調査やガラス乾板からの画像取得を実施、一部については成果報告書を編纂した。

イ) 文化財アーカイブズ研究室と連携し、『サントリー美術館所蔵 重要文化財 四季花鳥図屏風に関する光学調査成果報告』及びサントリー美術館所蔵《泰西王侯騎馬図屏風》に関する調査研究成果を所内資料閲覧室で公開した。また、『宮内庁三の丸尚蔵館所蔵 春日権現験記絵 巻三・巻四 光学調査報告書』を2017(平成29)年9月30日付で刊行した。

2. 文化財情報基盤の整備・充実

ア) ネットワーク機器及びソフトウェアに対し保守・監視を実施、国立文化財機構内他施設の担当者と情報交換を行いセキュリティ水準の維持・向上に努めた。また、職員の情報セキュリティへの意識向上を目的に、2回の「情報システム部会研修会」を開催した。なお、所内の情報基盤整備及びセキュリティに関する業務については、各部・センターの情報システム部会員との連携により実施している。

イ) 大容量ストレージシステムDataCoreに対し、2018(平成30)年3月にストレージサーバを追加、容量を増強するとともにメモリを増設して、パフォーマンスを向上させた。

3. 文化財情報に関する調査研究

これまで構築してきたウェブデータベース及びその構築過程についてまとめ、構築による情報発信力についての効果に関する調査を行い、成果を論文で発表した。

4. 東京文化財研究所が行う調査研究成果の発信

ア) 研究情報の発信の一環としてウェブサイトの運用を実施した。平成29年度は、4件のウェブデータベースの新規公開、既存データベースへのデータ追加や機能改善、ウェブサイトの適宜更新を実施した。また、メールマガジン、SNS (Facebook及びTwitter) を通じて、国内外の文化財関係者に対し活動報告や催事などウェブサイトの更新情報を中心に提供した。

イ) 2017(平成29)年6月30日付で『東京文化財研究所年報2016』を刊行した。編集にあたっては、各部・センターの年報部会員の協力を得た。

ウェブサイトアクセスランキング

1	東京文化財研究所トップ	6	久野健資料
2	『日本美術年鑑』所載物故者記事	7	黒田清輝日記トップページ
3	ガラス乾板データベース	8	『美術画報』所載図版データベース
4	『保存科学』	9	フィルム原板データベース
5	『日本美術年鑑』所載美術界年史彙報	10	黒田清輝日記(日付別)

(平成29年度 上位10位まで)

ウェブサイトの主な更新履歴

年月日	更新内容	関係部局
17.4.21	畑正吉フランス留学期写真資料 公開	文化財情報資料部
17.5.9	「文化財収蔵施設・文書館等におけるカビの制御」ポスター 公開	保存科学研究センター
17.6.5	共催ワークショップ「青花紙と友禅染」開催	無形文化遺産部
17.6.5	『平成28年度文化庁委託文化遺産国際協力拠点交流事業 ネパールの被災文化遺産保護に関する技術的支援事業』刊行	文化遺産国際協力センター
17.6.15	独立行政法人東京文化財研究所・国立大学法人佐賀大学共催「染織品を中心とする文化財の保存にかかる共同研究」締結キックオフ集会「日本における染織文化財の保存」開催	無形文化遺産部
17.6.23	『平成28年度 文化庁委託文化遺産保護国際貢献事業（専門家交流） ミャンマー・バガン遺跡群における地震被害に関する調査 事業報告書』PDF公開	文化遺産国際協力センター
17.6.27	山下菊二関連資料 公開	文化財情報資料部
17.7.3	The Conference on the Preservation of Historic Settlements in the Kathmandu Valley on 30th November, 2016 PDF 公開	文化遺産国際協力センター
17.7.3	2015 Project for International Contribution to Cultural Heritage Protection / Project for Investigation of Damage Situation of Cultural Heritage in Nepal / Structural Survey of Historic buildings PDF 公開	文化遺産国際協力センター
17.7.3	2015 Project for International Contribution to Cultural Heritage Protection / Project for Investigation of Damage Situation of Cultural Heritage in Nepal / Survey of Historic Settlement PDF 公開	文化遺産国際協力センター
17.7.31	『公開研究会「南蛮漆器の多源性を探る」予稿集増補版』PDF公開	文化財情報資料部
17.10.6	第51回オープンレクチャー「かたちからの道、かたちへの道」開催	文化財情報資料部
17.11.7	キャスリーン・サロモン氏（ゲッティ研究所副所長）講演会「日本美術資料の国際情報発信に向けて」開催	文化財情報資料部
17.11.24	塩谷純 文化財情報資料部近・現代視覚芸術研究室長が第29回倫雅美術奨励賞を受賞	文化財情報資料部
17.12.15	"Workshops on the Conservation of Japanese Art Objects on Paper and Silk 2018" 参加者募集	文化遺産国際協力センター
17.12.20	「東南アジア古代都市・建築研究会」開催	文化遺産国際協力センター
18.1.16	国際研修「紙の保存と修復2018」参加者募集	文化遺産国際協力センター
18.1.23	研究会「美術雑誌の情報共有に向けて」開催	文化財情報資料部
18.1.24	「第一回 無形文化遺産映像記録作成研究会」開催	無形文化遺産部
18.2.15	「東京文化財研究所美術文献目録」のOCLCへの提供	文化財情報資料部

(定期刊行物の公開、活動報告、公募情報を除く)

論文・小山田智寛「WordPressを利用した動的ウェブサイトの構築と効果―「物故者記事」「美術界年史(彙報)」を事例として―」『美術研究』424 pp.21-28 18.3

刊行物・『宮内庁三の丸尚蔵館所蔵 春日権現験記絵 巻三・巻四 光学調査報告書』 17.9

研究組織 ○二神葉子、津田徹英、江村知子、塩谷純、小林公治、小林達朗、小野真由美、安永拓世、橘川英規、小山田智寛、城野誠治、三島大暉、逢坂裕紀子、竹花真由子、谷口每子、芦立麻衣子、安岡みのり、丸山礼(以上、文化財情報資料部)

広報委員(情報システム部会)：佐野千絵(保存科学研究センター長)

各部署情報システム部会員：中村恵、大島大輔(以上、研究支援推進部)、津田徹英(文化財情報資料部)、石村智(無形文化遺産部)、吉田直人(保存科学研究センター)、安倍雅史(文化遺産国際協力センター)

広報委員(年報部会)：山梨絵美子(副所長)

各部署年報部会員：安川政和、林昌宏(以上、研究支援推進部)、小林公治(文化財情報資料部)、久保田裕道(無形文化遺産部)、北河大次郎(保存科学研究センター)、友田正彦(文化遺産国際協力センター)